

(於:湯のさとちくま白鳥園 2017.10. 21-22)

「さらしなの里 そば祭り」

### 姨捨棚田地域 地質と景観 その成因

塚原 弘昭

近景と遠景の絶妙な  
組み合わせ

#### 姨捨棚田の風景



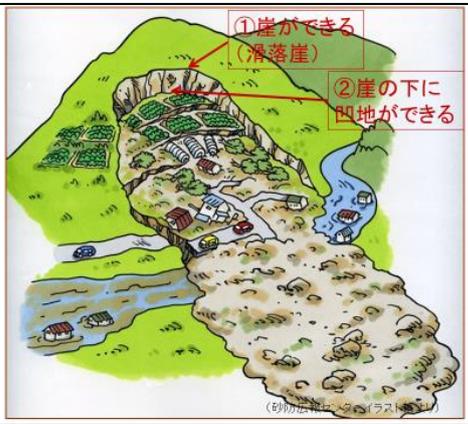
(1) **近景**:粘土質の地層だったので地すべりが発生し、地すべりの繰り返しでできた傾斜地。たび重なる地すべりで、表層が深部まで混ぜ合わせられ、肥沃な土壌ができた。

#### なぜ 尾根に棚田が作れるか



#### 地すべり

典型的な地滑りの模式図



姨捨棚田では、地すべりでできた凹地（大池）が棚田の水源。土壌と水源は自然の恵み。水路と棚田造成は人間の努力。

35-40 万年前の三峰山の大崩壊(巨大地すべり)が、この地域の地すべりの発端。この巨大地すべりは、幅 2 km。昭和 60 年の地附山地滑りが、幅 300m だったことから見ても、この地すべりが巨大だったことがわかる。

#### 三峰山の 大崩壊が、 棚田の土壌の源



(2) **遠景**:左図の赤点線で示す活断層(1847年の善光寺地震も発生した)は、約 50 万年前から、断層の西側の隆起、東側の沈降を、地震を発生させるたびにひき起こしてきた。善光寺平はこの活動によってつくられた。そのため、善光寺平はこの断層に沿って長い形になっている。姨捨棚田は善光寺平の南端にあり、北方をながめると(図中の赤矢印→)善光寺平を奥行きのある長手方向に一望することになる。

